

第70回 和歌山市医師会医学会総会 ご 案 内

日 時 ▶ 令和元年 11 月 16 日 (土) 午後 3 時
場 所 ▶ 和歌山ビッグ愛 4 階 和歌山市医師会大会議室

3:00 会長挨拶 和歌山市医師会会長 野村 康晴

3:10 特別講演 座長：(医)橋本病院 理事長 橋本 忠美
(和歌山市医師会前副会長)

演 題 『概念を一変させる和歌山大学硬式野球部の挑戦』
～全国注目の取り組みとモノの観方、考え方～

講 師 和歌山大学野球部監督・エスビジョングループ提携事業本部長 大原 弘氏

2017年5月17日、近畿学生野球連盟に所属する県内唯一の大学硬式野球部である和歌山大学が、15連覇中だった奈良学園大学を倒し、全日本大学野球選手権に出場を決めました。県内の大学として初めての大学野球最高峰の選手権出場。そしてその大会でベスト8進出。さらに昨年秋にも二度目のリーグ制覇を果たし、野球王国和歌山の大学野球のカテゴリーで、近年強豪私立大とも互角に戦えるチームとなっています。今では地方国立大学では稀な、選手、スタッフ合わせて85名の部員が在籍しており、全国から和歌山を目指して『人』が集まってきています。どうして和歌山大学がここまで躍進することができ、マスコミ、あるいは全国の野球関係者から注目を浴びているのか。また、練習環境も厳しく、私立のような特待生制度での選手獲得、寮生活での野球漬け、強化指定での豊富な資金運営とは全く真逆の野球が、なぜ全国レベルの力をつけるに至ったのか。『人』としての成長、『組織』としての一体化に観点を置いた取り組みが、真の文武両道として様々な面で好ましい変化に繋がっています。『ノーサイン野球』の卒業生たちは第一志望での就職率も高く、人材として求められる事例が多く出ています。『目標は日本一、目的は人としての成長』を根幹に据えて、地元和歌山で一人でも多くの方々に愛され、応援していただけるような大学野球部を目指しての活動についてお話しさせていただきます。

プロフィール

1965年和歌山市生まれ。県立桐蔭高等学校で投手、捕手として活躍。

京都産業大学に進学と同時に母校桐蔭高校のコーチに就任。3年後の夏、25年ぶりの甲子園出場に貢献。その後15年余りコーチとして指導。

2008年2月に連盟3部の和大大硬式野球部監督に就任。2012年秋に1部昇格後、今秋で15季連続在籍。2017年春に加盟67年目で初の全日本大学野球選手権出場に導く。同大会ではベスト8に進出し一躍注目を浴びる。

本業は、学習塾を運営する地元のエスビジョングループ(GES)の提携事業本部長。第四事業部部長を兼任しながら、日々4,000人を超える幼児、小中高校生と関わっている。動体視力などの強化につながるビジョントレーニングも推奨し、現在まで今夏の甲子園優勝校の履正社、沖繩尚学、札幌日大などでも指導。在職31年。

4:30 閉会挨拶 和歌山市医師会副会長 角谷 正文

★希望により託児室を開設します。2週間前迄にお申出下さい。和歌山市医師会【TEL (073) 435-5199】

